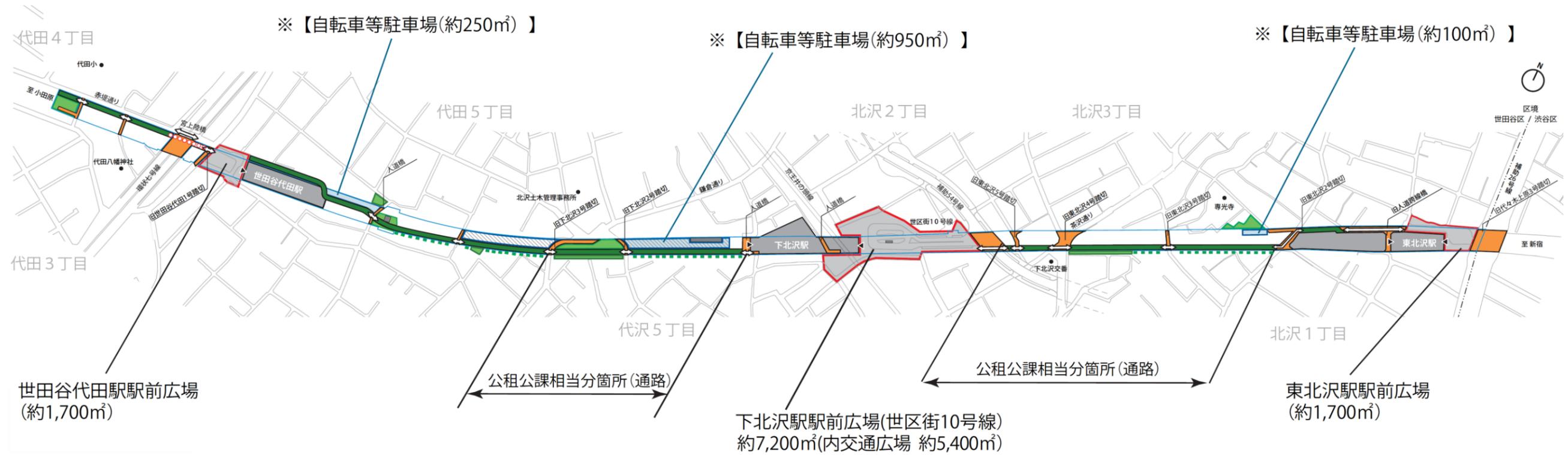
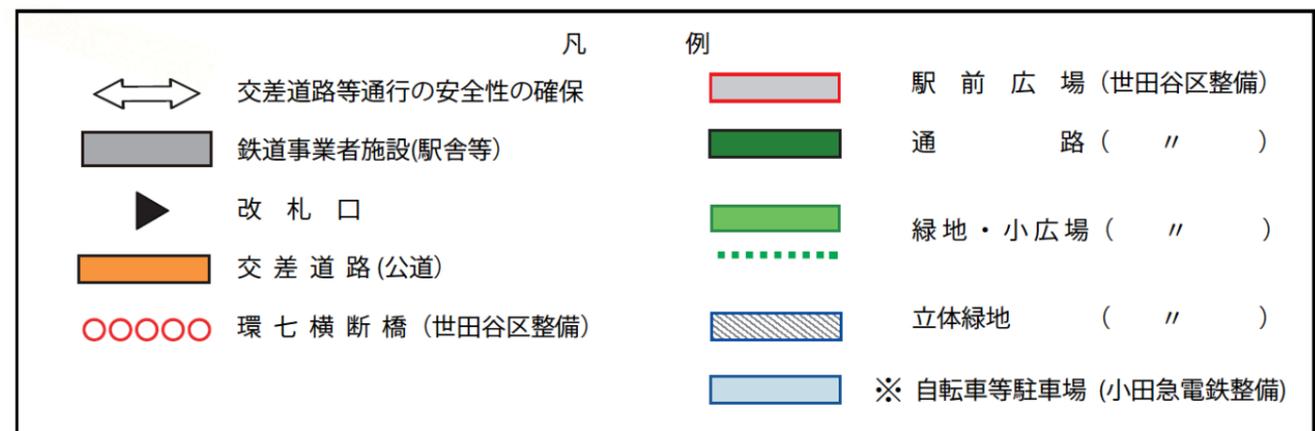


7) 上部利用施設配置図



施設の種類	面積 (㎡)
駅前広場	約10,600
通路 (内公租公課相当分)	約4,000 (約1,900)
緑地・小広場	約2,900
立体緑地	約1,750
※自転車等駐車場	約1,300

・面積の数量については、今後実施する協議、測量等により変動します。



※配置図の自転車等駐車場については、小田急電鉄の整備となりますが、「世田谷区自転車等の利用に関する総合計画(平成23年3月策定)」を踏まえ、参考に記載しています。

4. 整備の進め方

1) 施設整備の考え方

駅前広場や通路、緑地・小広場等、区の施設の整備にあたっては、地域の方々や関連事業者等との連携、協力の下、鉄道関連施設や周辺隣接地、道路等との関係性や連続性などに十分配慮しながら、効率的、効果的に進めていきます。

2) 区民参加

区ではこれまで、上部利用に関する意見募集や街歩き、オープンハウスなど多様な方法で区民参加を進めてきました。区民に愛され、いつまでも大切にご利用頂ける施設となるよう、今後も様々な場面で区民参加に取り組み、整備していきます。

(1) 北沢デザイン会議

小田急線沿線の街の未来を考え、イメージを共有するために、広域的な街づくりの情報発信や情報交換の場としていきます。



(北沢デザイン会議)

(2) 上部利用デザインワークショップ

区民参加の下、区の整備する施設全体のデザインのポイントやアイデアを練り上げ、「デザインコンセプト」をまとめていきます。



(上部利用デザインワークショップ)

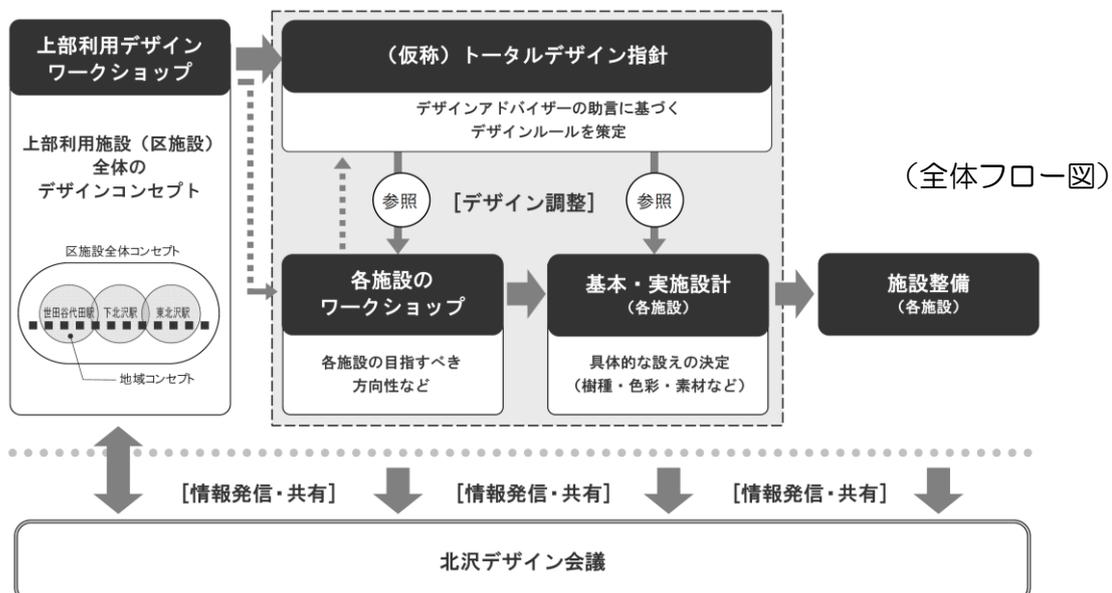
(3) 各施設の整備に関するワークショップ

緑地・小広場など、区の整備する施設の整備や管理について、区民参加で意見を出し合い、親しまれる公共空間を創出していきます。

3) 周辺街づくりとの連携

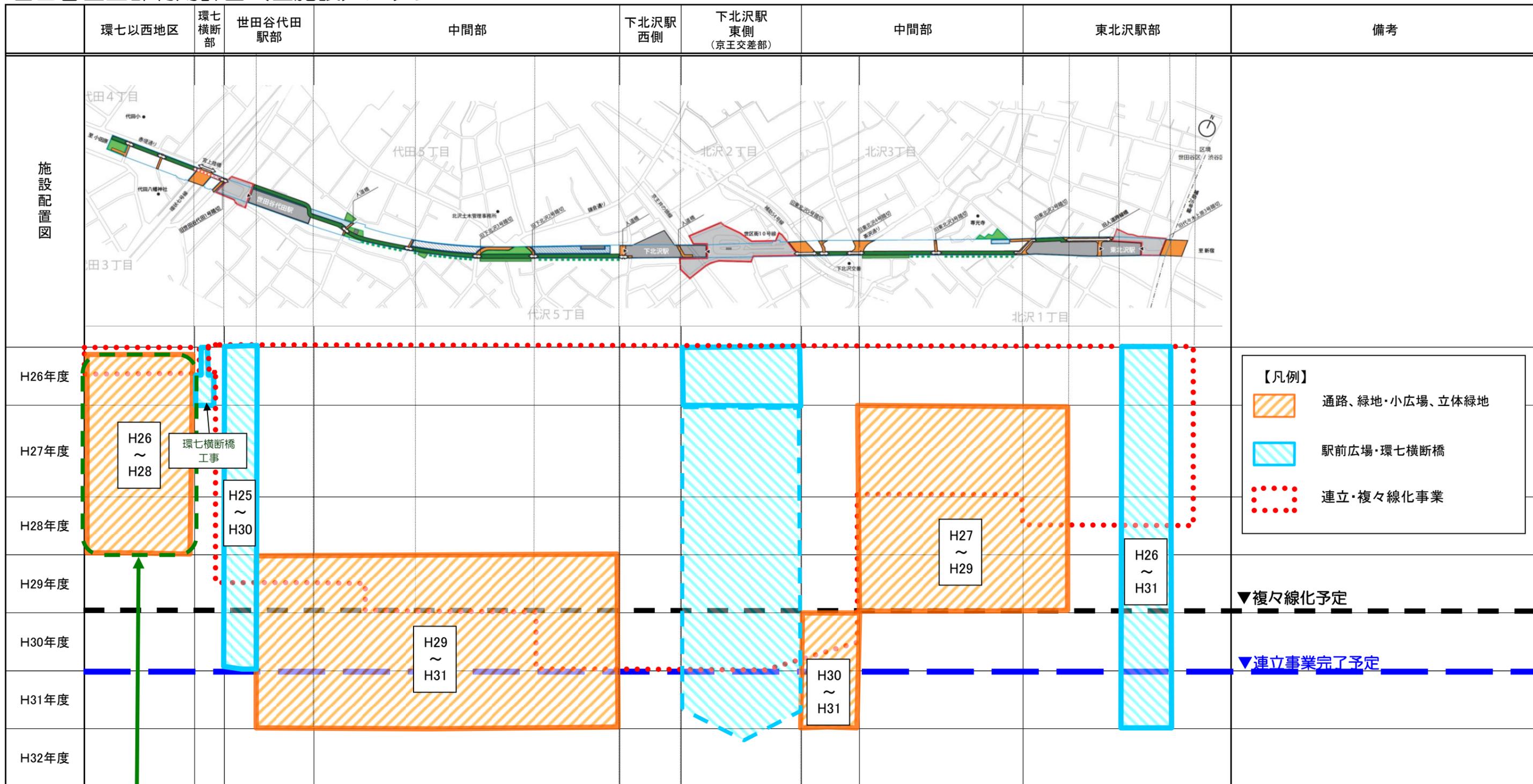
「上部利用デザインワークショップ」によりまとめた「デザインコンセプト」を踏まえ、専門家であるデザインアドバイザーの助言を貰いながら、デザインルールである「(仮称)トータルデザイン指針」を策定します。

この指針を関係者間のデザイン調整に役立て、東北沢、下北沢、世田谷代田の3駅周辺の街づくりと連携し、統一感や調和のある都市空間の創出を目指します。



4)スケジュール

世田谷区上部利用計画（区施設）スケジュール



【凡例】

- 通路、緑地・小広場、立体緑地
- 駅前広場・環七横断橋
- 連立・複々線化事業

▼複々線化予定

▼連立事業完了予定

※環七以西地区は先行区間
(通路を暫定整備するため)

・上記スケジュールは、区間毎に策定する、施設整備計画に定める事業期間(予定)を示しています。
・事業期間内においては設計等を行い、連立事業の進捗を鑑みながら、工事に着手します。